

不動産の不思議 不動産のふしぎ 不動産の不思議 不動産のふしぎ

明海大学 不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第26回

【学生の目】

浦安市北栄は、浦安町のころから市街地で元町地区に属している。旧地名は「北境」で、浦安駅の開設で発展することを見込んで「北栄」となった。道路配置と土地区画は整然としていて、主要道路沿いはマンションが、地区内道路沿いはマンションと戸建てが多い。

通行止めの道路

果、住宅地を開発する際に必要なくともあり、明るく安心し

お洒落な歩行者道路にしては

北栄を散策中、4年間学んだ不動産学の知識で説明できない不思議な道路をみつけた。主要道路より低い、主要道路との分岐は歩道によって分断される(一般的には歩道が車道で

必要となる接道義務を満たすためにつくった市道といつことが分かった(建築基準法42条1項1号道路)。謎の答えはその経緯だ。元々は水路で、上に蓋をした構造のため、車が走る重みに耐えられない可能性があるといつ。

て歩ける歩行者道路に特化してはどうだろうか。街灯を増やし、レンガ敷きにすれば「お洒落な横道」として新しい街並みができるだろう。北栄には既に海外から導入されたポン

高度成長から高齢社会へ移行し都市インフラの役割も変容する。電動カートで移動できる安全・安心・快適な通路網はその例だ。少ない投資で次代の社会インフラを実現するために、地域資産の活用と担い手の育成が喫緊の課題である。

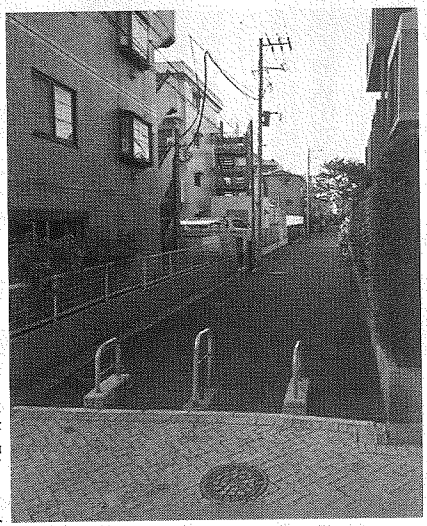


富山大貴 不動産学部4年

一般的な道路としての条件を完備しない、いわば「仮設道路」といえるが、いつまでもこのままではい

だ。一方、街灯が少ないために夜の安全性に不安がある。

【教員のコメント】



入口に車通行止めのバリカーがある道

総合・政策